



社 カ カ だ よ り

主な内容

- ▶第15回喜多方市社会福祉大会
表彰・ちいさなて優秀作文 …… 2～5
- ▶ふれあいだより他 …… 6～7
- ▶共同募金御礼・実績報告 …… 8
- ▶ぼらせん通信 …… 9
- ▶よらんしょネット
生活サポートセンター …… 10
- ▶寄付報告 …… 11
- ▶お知らせ …… 12

喜多方市社会福祉協議会公式
facebook



12月のおもちゃ図書館はクリスマスイベントで盛り上がりました。
クリスマスカード作りや絵本の読み聞かせなどで楽しんでいたら、サンタクロースが登場！
みんなでサンタさんに「メリークリスマス！」と言ってプレゼントをもらいました♪



第15回 喜多方市社会福祉大会

第15回喜多方市社会福祉大会は、令和元年11月20日（水）、来賓の方々、市内の福祉事業関係者、市民の皆様あわせて400名のご参加をいただき、盛大に開催されました。

第1部の式典では、喜多方市の社会福祉向上並びに共同募金運動に貢献された個人・団体に、それぞれ表彰状、感謝状が贈られました。

また、市内小中学校生から募集した「福祉作文」の優秀作品5編の発表も行われ、福祉に対する考え方や、学校や家庭で体験したボランティア活動を通して感じたことが発表され、次世代を担う児童生徒の意識の高さに皆さん感心して聞いてお

られました。

また、この大会を契機として、福祉のまちづくりの推進を図ることを大会宣言として参加者一同誓い合いました。

第2部の記念講演は、近年、健康増進や認知症予防などで効果があるといわれている「笑う」をテーマに、コメディアンのコント山口君と竹田君をお招きし「笑いは元気の常備薬くぼけないためにボケまくる」と題して開催しました。お二人の軽快で絶妙なコントをまじえたお話に会場はオープニングから大爆笑で、笑顔と元気を沢山いただいた楽しい講演でした。



【社会福祉大会会長表彰】

多年にわたり地域福祉の充実に
尽くされた方・団体

- 武藤 顕 夫
- 山口 憲 次
- 喜多方市赤十字奉仕団
- 熱塩加納町赤十字奉仕団
- 関柴小学校こども見守り隊

【社会福祉大会会長感謝】

社会福祉事業を理解し多額の寄
付をされた方

- 武藤 顯 夫
- 山本 豪
- 須藤 まち子

【福島県共同募金会会長感謝】

共同募金運動を理解し、平成30
年度において多額の寄付をされ
た方・団体

- 五十嵐 英 子
- 神田 香
- 佐藤 徳 衛
- 鈴木 孝 子
- 須藤 俊 一
- 塚原 ハルイ
- 東 條 貞 一郎
- 星 孝 司
- 若狭 光 子
- 渡邊 寅之助
- 渡邊 喜 男
- 会津喜多方ライオンズクラブ
- あいづ塩川湯川ライオンズクラブ
- 会津よつば農業協同組合 いいで地区本部
- 社団法人南町報徳社
- 医療法人 昨雲会職員一同
- 株式会社サクマコーポレーション

喜多方仏教会

塩川町誘致企業協議会
たっしや会喜寿の集い
満福寺

【福島県共同募金会会長感謝】

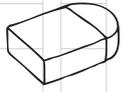
学校や街頭などで募金運動を
行うなど、平成30年度において
多大な貢献をされた団体

- 喜多方市立 第一小学校
- 第二小学校
- 松山小学校
- 上三宮小学校
- 熊倉小学校
- 慶徳小学校
- 熱塩小学校
- 加納小学校
- 堂島小学校
- 塩川小学校
- 姥堂小学校
- 山都小学校
- 第一中学校
- 第二中学校
- 第三中学校
- 会北中学校
- 塩川中学校
- 山都中学校
- 高郷中学校
- 喜多方高等学校
- 喜多方東高等学校
- 喜多方桐桜高等学校
- 耶麻農業高等学校
- 福島県立
- ガールスカウト福島県第17団
- 喜多方シテイエフエム株式会社
- 喜多方市ボランティア連絡協議会
- 山都町赤十字奉仕団

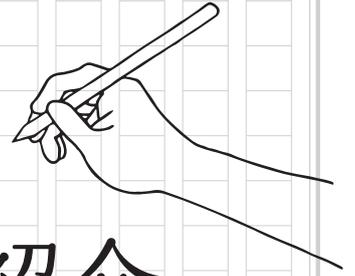
(敬称略)

令和元年度

児童生徒の福祉作文



「ちいさなて」



優秀賞受賞作品のご紹介

本会では、未来を担う児童・生徒の皆さんの福祉への理解と関心及びボランティア精神を育むため、市内の小中学校をボランティア活動普及事業協力校として指定し、各学校で行われる福祉教育を支援しています。

こうした学校のボランティアや福祉活動及び地域や家庭での福祉体験を通して、日頃から感じている事などを子供たちの目線で綴った、福祉作文集「ちいさなて」として発刊しております。

以下の作文5点は令和元年度の「ちいさなて」より優秀作品として選考され、令和元年11月20日に開催された「第15回喜多方市社会福祉大会」の席上で発表されたものです。



小学生の部 優秀作品

朝ボラで笑顔に

喜多方市立第二小学校 六年

江花 陸

ぼくたちの学校では、朝、六年生全員で学校中のいろいろな場所のそうじをします。それが、ぼくたちの学校の「朝ボラ」です。

ぼくは、みんながよく通る階段をそうじしています。ぼくには、そうじをする中で意識していることが二つあります。一つ目は、すみずみまできれいにはきそうじをすることです。その理由は、階段やろう下がきれいだと、みんなが気持ちよく校内を歩けるからです。

二つ目は、自分からみんなに元気なあいさつをすることです。その理由は、自分からあいさつをし、相手からもあいさつを返してもらえると、とても気持ちが良いからです。ぼくは、朝のあいさつは、一日の元気の源だと思っています。

そして次に、朝ボラを行って感じたことです。ぼくは、朝ボラを始めたばかりの頃は、めんどくさいなあ、とずっと感じていました。しかし、しばらく朝ボラを続けていくと「めんどくさい」という感じから、「楽しい」という感じに変わっていききました。それは、朝ボラをしていると、たくさんの友だちや先生方の

笑顔を見られるからだと思います。ぼくがそうじをしている所を通っていく人たちは、みんな笑顔です。朝ボラを「大変」と感じることも少しはありますが、みんなの笑顔を見ると、大変さも忘れ、ぼくも笑顔になることができます。

ぼくは考えました。スーパーボランティアと呼ばれる尾島春夫さんのことです。尾島さんは、災害が起きると、そこへ一人で向かい被害を受けた方の家で片付けの手伝いをします。そこでは、片付けはもちろんですが、被災者の方々を元気づけて、悲しい顔を笑顔に変えていました。いったいどんななげまし方をしているのかな、と疑問に思いました。すると、尾島さんは「ジョークを交えながら話して、笑顔にさせている。」とうれしそうに言っていました。それを聞いて、ぼくも、もっとみんなを笑顔にさせたいと思うようになりました。

朝ボラは、良いことがたくさんあります。ぼくは卒業までのあと半年、朝ボラでみんなの笑顔を増やしていきたいと思っています。



ボランティアを 通じて考えたこと

喜多方市立第三小学校 六年
富山 優衣

世の中には、ボランティア活動に取り組んでいる人が数多くいます。私の身近なところでもボランティア活動は行われています。それは、第三小学校の六年生による朝のボランティア活動、「朝ボラ」です。登校して準備をしたら、朝のマラソンの前の十分間、みんなが使う階段やろう下、玄関などを掃除します。全校生が気持ちよく使えるように六年生の一学期からずっと続けています。

担任の先生から、「朝ボラはだれのためにやっているのか、考えて取り組みましょう。」と言われたことがあります。私は、「学校のみんなのためにやるんだ」という思いで、活動に取り組むようにしています。

最近、よくニュースでボランティアに関することが放送されます。そこで紹介されるボランティアの人たちは、自分にも関係ない人のために全国から集まってきています。

山梨県のキャンプ場で七歳の女の子が行方不明になり、現在もそうさが続いています。そうさをしているのは、警察や消防、自衛隊だけでなく、全国各地から駆けつけた、たくさんボランティアの人たちです。その中に、二人の子どもを連れのお母さんがいました。記者の



人が話を聞くと、「私の子どもが行方不明になった子と同じ歳なので、放っておけなかったんです。」

と話していました。その人も遠くから来てボランティアに参加したそうです。そのとき私は、何だか心が温かくなりました。同時に世の中には、こんなにすばらしい人がいるんだと思いました。私は、学校で取り組んでいる朝ボラで満足していた気がします。テレビでそうさくの様子が放送されても、「かわいそうだなあ。早く見つかってほしいな。」と思うだけで済ませていました。テレビに映るそのような人たちと比べると、朝ボラで満足してはいけないうんだ、という気持ちになりました。心のどこかで「自分には関係ないからいいや。」と思っている自分、「かわいそうだから助けてあげたい。」と改めて実際に行動を起こしているボランティアの人の間には、ずいぶん大きな差があるように感じます。

でも今は私にできることは多くありません。ですから、まずは自分にできることからやっていきたいと思っています。そして、将来は自分が知らない人でも助けようとする優しい心をもち、実際に行動できるような大人になりたいです。

だれかのために

喜多方市立熊倉小学校 六年
遠藤 あんり

熊倉小学校では、六年生や環境委員会を中心に、除草作業やベルマーク集計、給食後のそうじなど、ボランティア活動に取り組んでいます。しかし、私はボランティア活動に積極的ではありませんでした。むしろ、ボランティア活動が苦手でした。なぜなら、自分の時間が減ってしまうからです。また、毎朝の除草作業は手がよごれるので、一番苦手でした。五年生までの私はこのような幼稚な考え方をしていました。

けれども、六年生になり、改めて熊倉小学校で行っているボランティア活動を見直しました。まずは、私が最も苦手な除草作業です。一年生から六年生まで全校生が除草作業を一生けん命することで、グラウンドがきれいになり、小学校生活最後の運動会では、自分たちの力をはっきりさせることができました。家族や地域の方がたくさん応援にきてくれましたが、熊倉小学校のきれいなグラウンドを喜んでくれました。わたしたち全校生だけでなく、お家の方や先生方も除草作業を行ってくださったおかげですが、自分たちがしたことだれかが喜んでくれることが、私にとってもこんなにうれしいことだということを知りました。

また、ベルマーク集計では、こんな出来事がありました。昼休みにベルマーク



集計をしている時、今年熊倉小学校にいらっしゃった先生から、

「熊倉小学校の四年生から六年生はすごいね。昼休みがつぶれるのに、ベルマーク集計が終わるまでボランティア活動に参加してくれていて。ありがとう。」

と笑顔で言われました。わたしたちの活動をほめてもらい、私はそんなにすごいのだと思いました。思わず、顔が赤くなるほどうれしくなりました。

このような体験から、私はボランティア活動を行うことで、だれかの役に立つことのすばらしさを実感することができました。今までいやがっていたボランティア活動でしたが、自分たちの行動がだれかの笑顔につながっていることが分かりました。そして、私たちが何気なく当たり前のようにしていることが、どこかでだれかの役に立っていることがあるのだと知りました。だれかのために行うことが、自分の気持ちも明るく前向きにしてくれることも感じました。

みんなを笑顔にするボランティア活動を、これからは進んでほしいと思います。

ボランティア

体験活動を終えて

喜多方市立第三中学校 三年 遠藤 菜月

私は体験学習で、「小規模多機能型居住介護事業所やわらぎ」という介護施設に行きました。

初めは、介護施設は認知症の方がたくさんいらっしゃる場所だから、介護するの大変で苦労ばかりだと思っていました。

初めて施設におじゃまさせていただきました。日 部屋に入ると、あたたかくてアットホームな雰囲気が印象的でした。職員の方がとても歓迎してくださったので、最初は緊張したものの、利用者さんともすぐに打ちとけて仲良くなることができました。私には曾祖母がいるので、曾祖母の話を利用者さんにお話ししたりしました。私が、「ひいおばあちゃんは九十二歳なんですよ。」と皆さんに言っていると

「それは負けないで長生きしなくちゃね。」とおっしゃってくれました。普段曾祖母と話しているように、積極的に話していたら、私の名前も覚えていただけたので、すごく嬉しかったです。

出し物ひろつのハンドベルでは「ふるさと」と、「きらきら星」を演奏しました。アンコールをいただいて、今度はみんなで歌いながらふるさとを演奏しました。中

には聞きながら泣いてくださる人もいました。もろい泣きをしてしまいそうになったけれど、喜んでいただけてとても嬉しかったです。

こちらの施設では、曜日ごとに利用者さんが入れ替わるそうなので、二日間て別な方がいらつしゃいました。皆優しくて上品な方ばかりで、将来私も優しくて品のあるおばあちゃんになりたいなと思いました。

お昼ごはんもごちそうになりました。お昼ごはんはカレーで、介護用ということもあり、小さく食べやすい大きさの野菜がたくさん入っていました。利用者さんや職員の方と一緒に食べることができて、とても楽しかったです。カレーは介護士さんの手作り、温かい気持ちになりました。

二日目の最後に、みんなで作ったメダルやネクタイをプレゼントしました。利用者さん達皆が笑顔になってくれてよかったです。帰るときに利用者の方たちと握手をしました。手を握ったとき、帰りたくないと思ってしまう。高齢化している世の中ですが、もっとずっと長生きしてほしいなと思いました。

この体験を通してたくさん学んだことを、家族の介護が必要になった時、活かせるようにしっかり忘れずに覚えておきたいです。もしお年寄りの方が困っている所



を見かけたら、駆け寄って声をかけたいと思います。ボランティア体験を通して皆さんのことを学べよかったです。

夏休みの

ボランティアを通して

喜多方市立会北中学校 二年 上野 美咲

私は今回の夏休みに、二つのボランティアに参加しました。その二つのボランティアを通して学んだことを紹介します。

まず、一つ目のボランティア、サマーシヨートボランティアを通して学んだことです。それは、「笑顔は言葉を超える」ということです。

今回お邪魔させていただいた施設には、耳が悪い方が多くいらつしゃいました。普段あまり高齢者の方々と接する機会がない私は、大きな声で話しかけてもなかなか伝わらず、会話に苦戦していました。きっと利用者さんも不快に思われていたと思います。ですが、施設の方が話しかけると、たちまち利用者さんは笑顔になるのです。なぜだろう、私は不思議に思い、施設の方を見ていると、あることに気づきました。

それは、常に笑顔を絶やしていないということ。対した人みんなが安心するよくな、とても優しい笑顔でした。それを真似て、私も笑顔を意識して話しかけてみました。すると、声で返すことはできずとも、笑顔で相づちを打ってくれたのです。その時とても嬉しかったし、お互いが笑顔だと、言葉を発さずとも気持ちは伝わるものなんだなと知ることができました。この経験から、「笑顔は言葉を超える」と感じる事ができました。

次に、もう一つのボランティア、福祉ボラ

ンティアを通して学んだことです。それは、「一人じゃないことの幸せ」です。福祉ボランティアでは、数名の班を作って一人暮らしのお年寄りの方々の家に訪問するのですが、私の班が訪問した家のおばあちゃんは、旦那さんが亡くなっておられました。そのため、普段からずっと一人で暮らしているとのことでした。掃除などの作業が終わり、みんなで茶菓子などをいただいている時、ふと、おばあちゃんが漏らした言葉がありました。

「みんなで食べるとずっとおいしいなあ。一人だと、おいしいもんもおいしくねえ。」そう笑いながら言ったのです。それを聞いた時、私は切ない気持ちになったのと同時に、来てよかったとやりがいを感じました。一人がどれだけ寂しくて孤独なのか。私にはまだ想像できないことですが、おばあちゃんこの笑顔を見ただけは絶やしてはいけない、そう思いました。

今回参加した二つのボランティアは、活動自体がとても楽しく、一緒に参加した友達と協力しながら行うことができました。それに、参加したことによって、少子高齢化が進む社会を改めて見直し、現状を把握する機会にもなりました。さらに、いろいろなことを学べ、自分達にできることを考えることもできました。



今回学んだことを、これからの生活に生かし、また機会があれば積極的にボランティアに参加したいと思います。強く思っています。



喜多方 地区

子育て支援の充実にむけて

喜多方市議会文教厚生常任委員7名の方々が、おもちゃ図書館の視察と利用されている皆さんとの意見交換会のために来訪されました。

少子高齢化が進む中で、子育て環境の整備は重要な課題です。意見交換会では、子育てしているうえで困っていることや、こんなのがあったらいいなといった要望などが出され、特に喜多方市が整備を予定している新しい施設への興味や関心の高さがうかがえました。

お子さんと一緒に懇談会にご参加いただいた皆さんと、お利口に待っていてくれた子どもたち。ありがとうございました。



車座になって和やかな雰囲気で行われた懇談会

熱塩加納 地区

またやっぺな!

熱塩加納地区ふれあい福祉協議会では、隣近所の皆さんが集まってひとときを過ごす「ふれあい茶話会」を定期的に開催しています。

血圧測定の後、レクリエーションボランティアさんの楽しいゲームをしたり、お茶を飲みながら世間話をして、あっという間に2時間が過ぎてしまいます。皆さん、次の開催が待ち遠しいようです。



赤崎行政区ふれあい茶話会

山都 地区

おじいちゃん、 おばあちゃん、 遊びに来たよ!!

山都小学校4年生22名が、デイサービスへ友愛訪問に来てくれました。利用者さんと一緒に歌を歌ったり、手遊びなどをして楽しみました。最後に児童たちから折り紙で作った手作りのメダルのプレゼントがあり、みなさん笑顔があふれました。



時代がかわっても手遊びは受け継がれます

塩川 地区

サンタより1年間の 感謝をこめて

塩川デイサービスセンターにサンタクロースがやってきました。

利用者さん一人ひとりにプレゼントが手渡され記念撮影をしました。

特別ゲストにマツケン トナカイに引かれてサンタ登場! (?)をお招きして、デイサービスダンサーズと一緒にマツケンサンバを披露し喝采を浴びました。



塩川のマツケン是谁?



ふれあい

高郷地区

五穀豊穰・無病息災を祈願

会津地方の小正月行事「だんごさし」をデイサービスの皆さんと行いました。

例年ですと、この時期の会津地方は深い雪に覆われ寒い季節ですが今年は積雪が全くなく、春からの農作物の育成を心配しているかたもおられ「今年も豊作になるといいなあ」「小判型も作っておいた方が良いか」など話しながら、皆さんそれぞれに願いを込めてだんごをさしました。



良い一年になりますように…

ご存じですか？

「おもいやり駐車場利用制度」

福島県では「障がい者、高齢者、妊産婦、けがをした方」など、一定の要件に該当する方が利用できる「おもいやり駐車場利用制度」を推進しています。

喜多方市内でも公共施設だけでなく民間施設にもおもいやり駐車場を設置している施設が増えています。

本協議会では、総合福祉センター、夢の森、塩川いきいきセンターにおもいやり駐車場を設置しています。

「おもいやり駐車場」を利用される場合は利用証の申請が必要です。

申請受付窓口 市役所社会福祉課、高齢福祉課、保健課、各総合支所住民課、県庁障がい福祉課、各保健福祉事務所

問い合わせ 県庁障がい福祉課 ☎024(521)7170

…
おもいやりをもって、
本当に必要な方のために
スペースを確保しましょう。



山都地区生活支援支え合い会議が設立しました。

令和元年12月16日に山都地区に生活支援支え合い会議が設立されました。

生活支援支え合い会議とは、既にある支え合い活動など地域の情報を共有したり、将来に向けて「自分たちのまちをどのような地域にしたいか」などを話しあったりします。

山都地区内の支え合い活動のつながりや見守り活動、居場所づくりなど、山都地区ならではの支え合いの仕組みづくりをできる範囲で考えていきます。

委員の方は、民生児童委員、行政区長会や福祉団体の代表、公民館長、障がい者福祉関係者、地域住民、市役所職員、社会福祉協議会職員、第2層生活支援コーディネーターの20名です。

山都地区は4回の準備会を開催し、高齢者に限らず、障がい者も住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、お互いに行えることを行う仕組みをつくっていききたいとの意見が出されました。



たくさんの

赤い羽根共同募金 ご協力ありがとうございました



御 礼

今年も赤い羽根共同募金運動が十月一日より全国一斉に展開されました。

福島県共同募金会ではボランティア団体やNPO活動の支援のための「地域課題解決型募金」を三月三十一日まで引き続き展開しておりますが、本市におきましては、市民一人ひとりの善意や、関係各位の多大なるご協力を賜り、本年度の募金活動を無事に終了することができました。

皆様には、赤い羽根共同募金運動の趣旨をご理解いただき、地域のたすけあいの輪を広げるための多くのご支援とご協力を賜りましたこと、心より御礼申し上げます。

赤い羽根共同募金や歳末たすけあい運動へお寄せいただいた寄付金は、地域で援助を必要としている方への支援や、地域の社会福祉の増進のための活動等に役立てられます。

今後皆様のご善意を様々なかたちで、地域に根ざした福祉活動の拡充に努めてまいりますので、「じぶんの町を良くするしくみ」である共同募金運動への変わらぬご支援とご協力をよろしく願っています。

令和二年二月

喜多方市共同募金委員長
喜多方市社会福祉協議会長

齋藤 勇



令和元年度の
喜多方市の実績額

一般共同募金	8,380,118円
歳末たすけあい募金	4,089,824円

地区	一般共同募金	歳末たすけあい募金
喜多方地区	4,543,949円	1,570,998円
熱塩加納地区	447,833円	538,300円
塩川地区	2,305,612円	1,170,278円
山都地区	711,089円	539,748円
高郷地区	371,635円	270,500円



街頭募金を実施しました

11月10日(日)、「第14回ふれあきたかた農業まつり」の会場で福島県台風第19号災害義援金の募金活動を行いました。

高校生の募金ボランティアさん達が肌寒い中頑張ってくれました。コメナルド画伯(お米の妖精キャラクター)も様子を見に来てくれて、多くの義援金のご協力を頂くことができました!

募金ボランティアの皆さま、募金していただいた皆さまありがとうございました。

あったかい年賀状

本会のボランティア活動普及校になっている『喜多方市立第三中学校』から、生徒達の手描きの年賀状が届きました。この年賀状は地区民生児童委員協議会協力のもと、地区内の高齢者世帯等へ送られました。

SNSが身近になり年賀状離れがささやかれる昨今で、生徒達の季節を感じさせる絵と温かい言葉の入ったステキな年賀状です!



福祉と介護の出張講座

11月5・6・8・11日の4日間にわたり、喜多方高校へ福祉と介護の出張講座に行ってきました!

内容は、高齢者疑似体験セットを使っての「高齢者の心身の理解」と「認知症の理解と対応」についてお話をしてきました。

体験セットを着用し、高齢者に起こり得る“変化”を体感した生徒達は、普段の感覚との違いに驚いていた様子でした。

今回は、高齢者と認知症についてのお話でしたが、支援を必要とする方々に対し、まずは相手を知る事、そして相手の気持ちになることを理解していただけましたら幸いです。

福祉レクリエーションボランティアスキルアップ研修

本会には、地域の高齢者サロン等で福祉レクリエーション活動を行う登録ボランティアさんがおり、現在、養成講座を修了された7名の方々が2グループに分かれて精力的に活動しています。

10月30日(水)には、活動の更なるスキルアップを図るため、NPOひめさゆりクラブさんの協力のもと、スキルアップ研修を実施しました。

新たなスキルを得て、今後の活動がより素晴らしいものになること間違いなし!

活動を希望されるサロン等の皆さま、是非、お気軽にお声がけください!



【お詫びと訂正】

社協だよりVOL.52のP8のふくしまボランティアフェスティバルにおける功労受賞者に誤りがありましたので、訂正してお詫び申し上げます。

<福島県社協会長感謝> 誤 山崎 京子 様 → 山岸 京子 様

喜多方市社会福祉協議会ボランティアセンター TEL0241-23-3231

“よらんしよネット”



元気を応援!!

あなたの街の
「喜多方市地域包括支援センター」
お気軽にご相談ください。
TEL.0241-21-8856

地域包括支援センターは、高齢者の方が住み慣れた地域で安心して生活できるように支えていくための相談窓口です。

市役所、介護サービス事業所、病院、警察署など関係機関と連携して困りごとの解決に努め、地域の高齢者や家族を支えます。

認知症になっても地域でいきいき暮らしていくために

認知症の方やその家族を支える制度やサービスにはさまざまなものがあります。

「認知症かもしれない…」と思ったとき、その後の変化していく状態に応じて、専門家と相談しながら上手に制度やサービス、地域でのサポートを活用していくことが大切です。

こんな相談ありませんか？

認知症について相談したい

- もの忘れが気になる。今後のことが心配。
- 本人が病院に行きたがらない

介護のことを相談したい

- 地域のサポートにはどんなものがあるか知りたい
- 介護の悩みを聞いてほしい

相談窓口をご利用ください。

- 地域包括支援センター
- 医療機関（かかりつけ医）
認知症の早期発見や診断、医療への支援が受けられます。
- 市役所の高齢福祉課



一人で抱え込まないで、まずは相談することからはじめましょう

生活サポートセンターからのお知らせ

～安心で安定した暮らしに向けて～

生活サポート相談をご利用ください!

こんなことで困っていませんか？

- ・仕事が見つからない
- ・仕事が長続きしない
- ・働きたいが何から始めればよいかわからない
- ・社会に出るのが不安



仕事のこと

- ・毎月の家計がうまくまわらない
- ・家賃や公共料金が払えない
- ・税金を滞納している
- ・借金の返済が大変
- ・子どもの学費がない



お金のこと

- ・生活に不安がある
- ・家族が引きこもっている
- ・病気で働けなくなった
- ・病院へ行けず、治療費が払えない
- ・お金も食べ物もない



くらしのこと

お困りの状況や生活を一緒に考え、整理していく相談窓口です。状況に応じハローワークや他関係機関へも同行支援します。

相談無料

秘密厳守 です。

ご相談・
お問い合わせは

喜多方市生活サポートセンター（社会福祉法人 喜多方市社会福祉協議会内）
☎0241-23-3231 までご連絡ください。

ほっとNEWS 〈一市民さまからのお手紙〉

今年も、匿名の一市民さまから善意のご寄付をお寄せいただきました。

近年の社会情勢や日本の将来に心を寄せられる一市民さまからのお手紙は市民皆さまからの声であると受け止め、職員一同、ご期待に応えられるよう背筋が伸びる思いです。ここにお手紙を掲載させていただきます。寒い時期ですので、どうぞお体にご留意なさってお過ごしください。今年もありがとうございました。

菊かおる今日このごろとなりました。

職員の皆様、常日頃お勤めご苦労さまです。

「即位礼正殿の儀」が終えられ、喜びの一方で、なんと、台風の影響で、予想外の大雨で、河川堤防の決壊や越水などで、大被害を受け、このような災害は経験したことのないひどいものです。

道路狭しと積み出された家財道具類の山々、家の中までの泥、住む家がない、片付けに疲労困憊の顔々、TVを見るにつけ、心が痛みます。

東日本大震災が思い出されました。残念です。

10%になった消費税、急増する社会保障給付、日本の社会は少子高齢化がどんどん進んでおり、立ち止まってはくれません。社会保障の将来に対する国民の不安は強いものです。

常日頃、居宅介護支援事業に携われる皆様に感謝いたします。

職員の皆様の笑顔、やさしい語りかけ、おもてなしにどれだけ救われることか。

やがては辿る道に向かう我々に、健康な身体をもって接して行って下さい。

時節柄、職員の皆様、ご自愛の程願います。

一般寄付		物品による寄付	
<p>〈喜多方地区〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遠藤次男 ・山本 豪 ・仲川喜代美 ・喜一中昭和三十九年度卒業生一同 <p>〈山都地区〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小林甚榮 <p>〈高郷地区〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・須藤健男 	<p>〈喜多方地区〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山口 稔 ・岩本義昭 <p>〈熱塩加納地区〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大澤 君一 <p>〈山都地区〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小池 明 ・湯田 功 <p>〈高郷地区〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天野光雄 	<p>ご遺志による寄付</p> <p>喜多方地区</p> <p>東四ツ谷</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊川町高吉一区 ・郡山市 ・熊倉町若平 ・熊倉町館 ・松山町村松第一区 ・東四ツ谷 ・関柴町下柴 ・松山町東桜方丘 ・上町西区 ・松山町東桜方丘 ・上三宮町譲屋 ・慶徳町山崎 ・慶徳町新宮 ・豊川町太田 ・慶徳町真木 ・塗物町 ・本仲町 ・松山町坂井 ・松山町平林 ・岩月町上田 ・慶徳町真木 ・上三宮町三宮区 ・豊川町一ノ堰二区 ・会津若松市 ・慶徳町豊岡 ・宮城県仙台市 ・関柴町中里 <p>大島 賢一</p> <p>佐藤 淳</p> <p>石田 圭一</p> <p>猪俣 和美</p> <p>唐橋 信雄</p> <p>手代木 巧成</p> <p>神山 和子</p> <p>樋口 伸二</p> <p>蓮沼 勝美</p> <p>佐藤 千弘</p> <p>荒井 戸内</p> <p>長谷部 正仁</p> <p>手代木 正幸</p> <p>大川原 幸美</p> <p>菅野 義美</p> <p>小野寺 達弥</p> <p>松浦 昭司</p> <p>若菜 昭広</p> <p>大川原 定義</p> <p>古山 憲一</p> <p>志 憲一</p> <p>良輔 昭</p> <p>夏井 良輔</p> <p>千代上 美裕</p> <p>舟城 和博</p>	<p>熊倉町獅子沢</p> <p>群馬県太田市</p> <p>上三宮町岩沢</p> <p>上三宮町見頃</p> <p>豊川町堂畑</p> <p>郡山市</p> <p>岩月町稲村</p> <p>上町西区</p> <p>熊倉町熊倉上</p> <p>花園町</p> <p>豊川町太田</p> <p>上町東区</p> <p>慶徳町豊岡</p> <p>下町南部</p> <p>松山町東桜方丘</p> <p>関柴町下柴</p> <p>上三宮町譲屋</p> <p>押切南</p> <p>北町</p> <p>栄町</p> <p>本仲町</p> <p>松山町南桜方丘</p> <p>上三宮町見頃</p> <p>豊川町高吉一区</p> <p>関柴町上高嶺</p> <p>郡山市</p> <p>関柴町楚々木</p> <p>寺町二区</p> <p>関柴町下柴</p> <p>上三宮町見頃</p> <p>猪俣 共一</p> <p>澤井 悦夫</p> <p>加藤 孝男</p> <p>二瓶 祐一</p> <p>檜澤 政幸</p> <p>荒井 政幸</p> <p>山口 昌幸</p> <p>遠藤 昌幸</p> <p>大原 隆博</p> <p>高松 宏雄</p> <p>大塚 俊一</p> <p>福地 英一</p> <p>福原 征成</p> <p>月岡 永成</p>

ご寄付ありがとうございました

お寄せいただいた寄付金は、地域福祉向上のため大切に役立させていただきます。

(令和元年10月1日・令和元年12月31日受付分) (順不同・敬称略)

資源回収にご協力ありがとうございます

ご協力いただいた皆様 ※順不同敬称略

△エコキヤップ▽

企業団体

- ・本田金属技術(株)喜多方工場
- ・SSKセールス(株)喜多方工場
- ・きたかた子育てサポートセンター
- ・喜多方市立第一小学校
- ・塩川町館ノ内行政区
- ・あいつ塩川湯川ライオンズクラブ
- ・ドリームハウス 富夢富夢
- ・きたかた商工会女性部熱塩加納支部
- ・きたかた商工会女性部塩川支部
- ・きたかた商工会女性部山都支部
- ・きたかた商工会女性部高郷支部

個人

- ・鈴木治子
- ・猪俣千津子
- ・大塚千恵子
- ・小澤宏子
- ・佐藤聖子
- ・小澤新一
- ・田代時代
- ・山口美紗江
- ・佐藤昌子
- ・神保律子

△プルタブ・アルミ缶▽

企業団体

- ・ガールスカウト福島県第17団
- ・きたかた子育てサポートセンター

個人

- ・五十嵐純子
- ・大塚千恵子
- ・佐藤昌子

山都地区

- ・上指 隆之
- ・目黒 次子
- ・齋藤 憲一
- ・田中 英裕
- ・井上 功雄
- ・小瀧 一輝
- ・折安部 成司
- ・安部 陽夫
- ・坂内 勝雄
- ・坂内 陽夫
- ・坂内 陽夫
- ・佐藤 正行

高郷地区

- ・東ひばりが丘
- ・沼ノ平
- ・沼ノ平
- ・小布瀬原
- ・上野 昭平
- ・折安部 成司
- ・安部 陽夫
- ・坂内 勝雄
- ・坂内 陽夫
- ・坂内 陽夫
- ・佐藤 正行

熱塩加納地区

- ・猪俣 共一

日中

- ・澤井 悦夫

新川原

- ・加藤 孝男

岩尾

- ・二瓶 祐一

新崎

- ・檜澤 政幸

会津若松市

- ・荒井 政幸

宇津野

- ・山口 昌幸
- ・遠藤 昌幸

塩川地区

- ・中ノ目
- ・下窪
- ・東鏡 昭
- ・貝沼 昭
- ・西常 世

伊藤 武彦

木村 美恵子

今井 孝雄

澤田 孝一

手代木 儀平

山本 信清

阿部 和仁

磯部 浩之

波多野 学

佐藤 潔

大竹 祐光

高橋 和子

齋藤 文泰

別府 俊一

小林 雅一

大塚 悦一

佐藤 圭一

遠藤 晃修

川見 晃修

長谷部 敬伸

後藤 敬伸

渡部 幸徳

結城 直徳

遠藤 直徳

長谷川 雄史

遠藤 清司

阿部 均

小荒井 均

佐藤 賢一

中屋敷 金森

下利 根川

大沢 裕一

江花 裕一

石部 智子

湯浅 健太郎

鈴木 泰之

山内 壽太郎

須藤 元吉

佐藤 貴博

中川 善浩

棚橋 善浩

宗形 善浩

大塚 善浩

長谷部 善浩

館内 善浩

鈴木 卓爾

遠藤 忠恵

小林 貞二

花見 裕一

江花 裕一

石部 智子

湯浅 健太郎

鈴木 泰之

山内 壽太郎

須藤 元吉

佐藤 貴博

中川 善浩

棚橋 善浩

宗形 善浩

大塚 善浩

長谷部 善浩

館内 善浩

鈴木 卓爾

陶芸教室会員募集のお知らせ

喜多方市社会福祉協議会塩川支所では、陶芸教室新規会員を募集しております。

世界にひとつだけの作品づくりや楽しい会員同士の交流を始めませんか？窯元見学や陶芸体験の研修も計画しています。

活動場所 いきがいセンター（塩川いきいきセンターとなり）

募集期間 令和2年2月1日～3月31日
（開講後、見学してからの入会も可能です）

開講期間 令和2年5月上旬～11月下旬（概ね週2回）

会員資格 概ね55歳以上で喜多方市在住の方

問合せ・申込み

喜多方市社会福祉協議会 塩川支所 ☎0241-27-3948



喜多方市高齢者生産活動センターのご案内

令和2年度 会員募集のご案内

募集期間 令和2年3月1日開始 随時受付

募集人員 各グループ10名程度

活動時間 午前10時～午後3時まで（基本）

申込資格 市の区域内に住所を有する概ね60歳以上の方

活動費用 年会費および材料費

☆**陶芸グループ**（週2回の活動）
（1班は火・木曜日、2班は水・金曜日）
粘土で茶碗や皿、花器などを作陶・販売。

☆**手芸グループ**（毎週火曜日に活動）
吊るし飾り・編み物・バッグ・パッチワーク・起き上がり小法師などを製作・販売。

☆**織物グループ**（毎週木曜日に活動）
卓上織り機を使ってマフラー・コースター・テーブルセンター・バッグなどを製作・販売。

☆**押し花絵グループ**（月3回金曜日に活動）
乾燥した花々の押し花で、ブローチや絵ろうそく、しおり、額絵などを製作・販売。

☆**園芸グループ**（毎週火・木曜日に活動）
圃場や温室で草花を栽培し、販売。

☆**菌茸グループ**
（春から秋にかけ年間40日程度の活動）
椎茸を原木に菌打ち作業をして栽培し、生椎茸や乾燥スライス加工して販売。

☆**わら工芸グループ**
（10月から12月を中心として年間50日程度の活動）
ワラやスゲを使ってしめ縄や正月用玄関飾りを製作・販売。

*現在7グループで133名の会員が生産活動のほか、センターまつり(6月)や地域イベントでの出店販売、グループ研修、合同交流会など、年間を通して楽しく活動しています。
*年会費はグループにより異なりますので、詳細についてはお問い合わせください。

問い合わせ先 喜多方市高齢者生産活動センター
☎0241-24-2297
(喜多方市岩月町宮津字火付沢3567-1)

**送迎バス
運行コース**

行き センター発(8:50)～北町公園～コープ東店～市立図書館～喜多方駅～押切体育館～コメリ松山店～JAよつば岩月店～センター着(9:35)

帰り センター発(15:00)「行き」の逆コース
※コースは曜日により多少変更になることがあります。

センター展・体験教室のお知らせ

センター会員の作品展示・販売とあわせ、令和2年度入会を希望される方々に実際の活動を体験していただく機会を設けました。施設の見学や活動内容についてグループごとに対応いたしますので、センター展期間中に是非お越しください。

開催期間 令和2年3月10日(火)
～13日(金)の4日間

場所 喜多方市高齢者生産活動センター
(岩月町宮津字火付沢3567-1)

時間 午前10時～午後3時

市内送迎バス運行コース(曜日により変更あり)
(詳細はお問い合わせください)

行き センター(8:50発)～北町公園～コープ東店～市立図書館前～喜多方駅(9:03)～押切体育館～コメリ松山店～JAよつば岩月店～センター(9:35)

帰り センター(15:00発)「行き」と逆コースで運行。

*公民館活動やグループ活動等での体験教室も受け付けています。

内容 作品展示および販売、体験教室。

【展示・販売】期間中は自由にお越しください。

【体験教室】午前10時～午後3時(実施日に注意)

グループ名	体験料(材料代)	体験者受入人数/内容
陶芸	1,200円	毎日 10名/皿・丼・花瓶など
手芸	600円	火曜日 5名/吊るし飾り(布)など
織物	1,000円	木曜日 5名/裂き織りのテーブルセンター
押し花絵	600円	金曜日 5名/ブローチ作り
わら工芸	500円	火・木曜日 5名/輪杵、長杵縄

【体験申込】希望される方は、下記まで事前にご連絡をお願いします。
(2月末締切)

【問い合わせ・申込先】喜多方市高齢者生産活動センター
(喜多方市岩月町宮津字火付沢3567-1)
☎0241-24-2297 相良・高橋まで



※きたかた社協だよりの作成経費は、福祉活動支援金・賛助会員会費及び共同募金配分金等を活用させていただいております。